

タイ国家立法議会議長 新国会議事堂の建設工事進捗率 50% 発表



2018年3月7日、タイ国家立法議会議長は衆・参議院事務局の関係者らと同行し、新国会議事堂の建設工事現場を訪れました。その後、工事の進捗率が50%にとどまっていることを発表しました。

特任教授ポンペット・ウィットチョンラチャイ国家立法議会議長は 議会議員、ソーラサック・ピアンウエート衆議院事務総長、参議院事務局の関係者、記者団と同行し、ギャクガイ地区にある新国会議事堂の建設地を見学しました。

工事進捗について、調査したうえ、議長は、「工事進捗率が50%にとどまっていることがわかった。しかし、2019年の初頭に宮内庁に現在の国会議事堂を全面返還する予定となっているので、次回当選した議員が滞りなく役割を果たすことができるように任期満了前に本会議場や衆・参議員事務室などの必要な部分の工事を急ぎ、完成せざるを得ない。参議院の本会議場は今年の末ごろに、800人収容可能な本会議場は2019年の3月に完成する見通しだ」と述べました。また、立法議会の任期満了前に工事がすべて完成するように議長として努力し、進めたいことを強調しました。

一方、予算問題について、議長は「IT・情報処理システムと安全管理システムや議場の音響システムなどの基本システムの構築の予算は未だに給付決定されないため、構築作業は始まっていない状態になっているが、作業が進むようにこの間衆院事務局は手続きを進め、内閣に予算決定の検討を求めた。だから、予算が給付されたら、議事堂の建設と共にシステム構築が速やかに終了できるという考えだ。建設工事請負契約の更新(延長)はシノタイ エンジニアリング・アンド・コンストラクション の契約相手である衆院事務局の決定に基づき行うこととしている。そして、予定通りに現在の場所から新国会議事堂への引っ越しできない国会ラジオ・テレビ放送局と印刷サービス担当部の問題への取り組みについては別の場所を仮設事務所として用意している」と話しました。

衆議院事務局 | 国会ラジオ・テレビ放送局

記事: ナット・ブンジット

編集: レーヌー・ケーマーパンヤー

衆議院事務局 | 外国語事業担当局 | 日本語通訳・翻訳

翻訳: タカウィット・ミンクワン

参考サイト : <http://www.radioparliament.net/parliament/viewNews.php?nId=9068>